

本日のプログラム

- 10:00～ 1.開会
- 10:02～ 2.スマートシティ施策のKPI指針改定及び、
スマートシティリファレンス・アーキテクチャ改定内容の解説
- 10:47～ 3.令和4年度のスマートシティ関連調査事業等の報告
- 11:32～ 4.令和4年度の分科会活動の報告
- 11:47～ 5.質疑応答
- 11:57～ 6.事務局からのお知らせ
- 12:00 7.閉会

【質疑応答について】

質問は**ウェビナーのQ&A機能**にて受け付けますので、積極的にご質問ください。
「5.質疑応答」の時間に、申込時に受領した質問も含めて、まとめて回答いたします。

1 開会

2

スマートシティ施策のKPI指針改定
及び、スマートシティリファレンス・
アーキテクチャ改定内容の解説

3

令和4年度のスマートシティ 関連調査事業等の報告

発表団体

- 下記3省より、令和4年度のスマートシティ関連調査事業等について報告いたします

1.総務省 情報流通行政局 地域通信振興課

2.経済産業省 製造産業局 自動車課

3.国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室

4 令和4年度の分科会活動の報告

発表団体

- 下記3団体より、令和4年度の分科会活動について報告いたします

1.セキュリティセーフ分科会

(発表：株式会社ラック)

2.3D都市モデル分科会

(発表：国土交通省 都市局 都市計画課)

3.都市マネジメント分科会

(発表：国土交通省 都市局 都市計画課)

スマートシティ官民連携プラットフォーム 分科会概要

スマートシティの推進にあたり、共通する課題を抱える団体相互で課題の解決策等を検討したい場合は、分科会を提案することが可能（分科会の成果は会員・オブザーバー間で共有）

<想定される分科会のテーマ(例)>

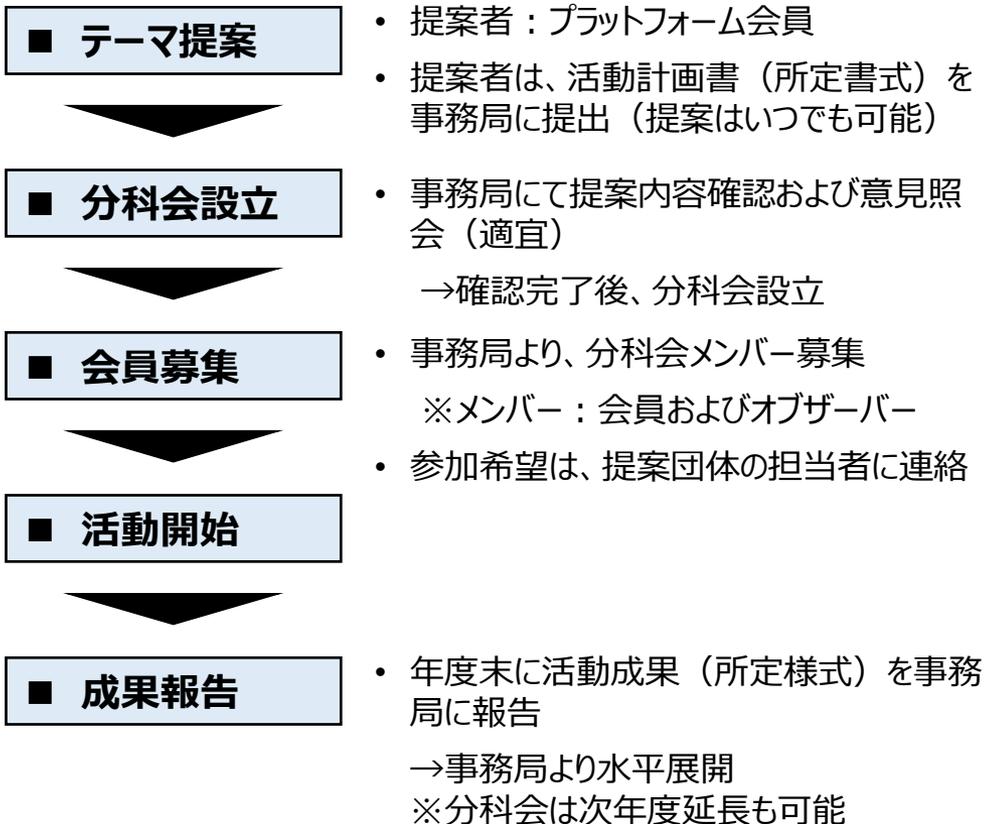
○共通課題のテーマ

- 交通・モビリティ:都市・地域における移動手段の確保
- 観光・地域活性化:インバウンド振興、中心市街地の回遊性向上

○異分野連携のテーマ

- 交通×医療:交通と医療サービスのパッケージ化
- 環境×モビリティ:再生可能エネルギーを活用したモビリティ提供

<分科会設立・活動フロー>



スマートシティ官民連携プラットフォーム 分科会一覧

- 令和元年12月より分科会活動を開始。
- 令和4年度は、以下の8つの分科会が活動中。

<令和4年度活動中の分科会>

	提案者名	提案テーマ名	ステータス
1	内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省	スマートシティガイドブック分科会	R3.1開始・継続中
2	総務省、株式会社ラック、OGC	スマートシティのセキュリティ・セーフティ	R1.12開始・継続中
3	国土交通省、松山アーバンデザインセンター	都市マネジメント	R1.12開始・継続中
4	国土交通省 都市局	3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会	R3.3開始・継続中
5	有限責任監査法人トーマツ	スマートシティの財政面からの持続性確保	R1.12開始・継続中
6	東京ワンセグ放送(株)、(株)エコロングデン、石垣ケーブルテレビ(株)	物流分野の効率化・省力化に関する検討分科会	R1.12開始・継続中
7	KPMGコンサルティング(株)	スポーツを核としたスマートシティの検討	R1.12開始・継続中
8	PwCコンサルティング合同会社	ネット・ゼロスマートシティ検討分科会	R3.7開始・継続中

スマートシティのセキュリティ・セーフティ分科会（概要）

分科会提案者：総務省、(株)ラック、(一社)オープンガバメントコンソーシアム(OGC)

分科会の目的	スマートシティにおけるセキュリティやセーフティの手法検討と地域への啓発活動
解決したい課題	スマートシティに取り組む地域の技術情報や他地域情報提供による知見共有

分科会での活動内容 及び 期待される成果

■ 分科会での活動内容（※）

活動1：スマートシティセキュリティガイドラインをベースとしたセキュリティチェックリストの検討（月1回の会合 他個別活動）

活動2：スマートシティに関する取組の情報共有・勉強会開催活動（月1回の会合 他個別活動）

（※）新しい取組の発案があった場合は分科会内で検討したうえで都度追加する

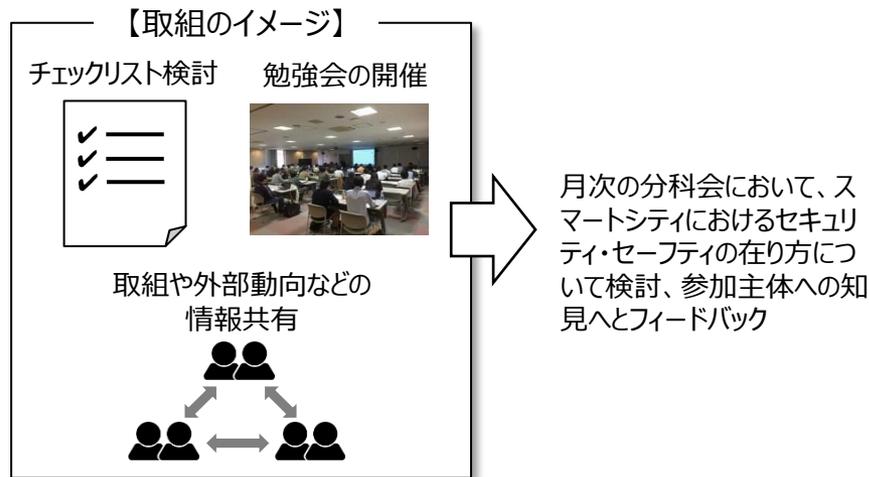
■ 期待される成果

スマートシティのセキュリティ、セーフティに関する地域への啓発、自治体支援

対象分野

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 防災
- インフラ維持管理
- 観光・地域活性化
- 健康・医療
- 環境
- 農林水産業
- 都市計画・整備
- 物流
- セキュリティ・見守り
- その他（上記についてセキュリティ・セーフティの観点から横断的な検討を行う。）

スマートシティセキュリティガイドラインをベースとしたチェックリストの検討を行いつつ、各地域への啓発活動、情報提供活動を進める。



参加メンバー：省庁・自治体3団体、企業等18団体、合計21団体

【メンバー】

総務省、(株)ラック、(一社)オープンガバメントコンソーシアム(6社)、日本PFI・PPP協会、凸版印刷(株)、さいたま市、京セラ(株)、東京海上日動火災保険(株)、森ビル(株)、TIS(株)、日本電気(株)、鎌倉市、東テック(株)、ニューラルポケット(株)、トレンドマイクロ(株)、OAGE

分科会での活動概要

■ 分科会での活動内容

活動1：分科会を隔月開催に変更、各社からの情報提供、意見交換

■ 期待される成果

スマートシティのセキュリティ、セーフティに関する地域への啓発、自治体支援

分科会の活動成果

- 1) 各社取組情報を参考に、共創活動の模索を行い、一部にて共同研究の検討が創出された
- 2) 参加団体が主催する外部の研究会へ、活動が拡張された

課題・展望

分科会の目的、活動方針が変わってきている状況のため、参加団体にアンケートを行い、2023年度の方針を検討

分科会の目的	スマートシティのセキュリティ・セーフティに関する事例調査を行い、情報発信を進める
解決したい課題	主に自治体・公共機関を対象に事例情報を共有し、各地域での取組に活用いただく

分科会での活動内容 及び 期待される成果
■ 分科会での活動内容 活動 1：事例調査と分科会内での発表 活動 2：オンラインセミナーの開催
■ 期待される成果 スマートシティのセキュリティ、セーフティに関する地域への啓発、自治体支援、共創機会の創出

実施スケジュール				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
活動 1	事例調査・分科会内共有			
活動 2				★ オンラインセミナー開催

連絡窓口
団体名：株式会社ラック 担当者名：又江原恭彦 メールアドレス：yasuhiko.mataebara@lac.co.jp

3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会（概要）

分科会提案者：国土交通省 都市局

分科会の目的	<ul style="list-style-type: none">• 全国の3D都市モデルの整備促進• 3D都市モデルを活用した官民のユースケース開発の促進
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none">• ユースケース開発を通じた官民の3D都市モデル整備・活用に対する動機付け• 官民のニーズ・シーズのマッチング／潜在的市場の顕在化• 3D都市モデル整備・活用に関する障壁可視化・対応方針整理

分科会での活動内容及び期待される成果

■ 分科会での活動内容

活動1：3D都市モデル整備に関する論点整理

- データ仕様の拡張・緻密化・標準化
- 測量手法のルール化、更新手法の確立、基礎データの充実

活動2：ユースケース開発の論点整理

- スマートシティの社会実装に資するユースケースの深掘り
- シーズ・ニーズのマッチング/プラクティス共有

活動3：オープンデータ化・ムーブメント惹起の論点整理

- 自治体や民間事業者への普及啓発
- オープンデータ推進／流通性向上／法的論点整理

■ 期待される成果

- 産学官の連携による3D都市モデルの整備・活用エコシステム構築に向けた環境整備

対象分野

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 防災
- インフラ維持管理
- 観光・地域活性化
- 健康・医療
- 環境
- 農林水産業
- 都市計画・整備
- 物流
- セキュリティ・見守り
- その他（建設、小売・流通、コミュニケーション、エンターテインメント…など）

■ 3D都市モデル普及に向けた取組の展開イメージ

令和2年度
@UDX活動

Project PLATEAUを立ち上げ、先行的に56都市のデータ整備と44件のユースケース実証等を実施

令和3年度
@本分科会

3D都市モデル整備・活用促進に向けた、課題整理、環境整備、事業者・自治体マッチング等を実施

令和4年度～
@本分科会

（市場拡大に向けて前年度までの取組みを踏まえた各種検討・施策を実施）



参加メンバー：省庁1団体,自治体101団体,大学2団体,企業等116団体,合計220団体

【メンバー】国土交通省 他、別紙参照。

分科会での活動概要

- | | |
|---------------------------------|--|
| R4.6.23
第6回 | ・Project PLATEAUの紹介
・R4年度の主なプロジェクト内容の共有 |
| R4.7/12-13
マッチング
支援イベント① | ・3D都市モデルを活用したい自治体とサービス・技術を持つ民間事業者のマッチングイベントを開催。
・126の自治体が参加。 |
| R4.9.22
第7回 | ・ゲームエンジン及びクリエイターツール利用におけるデータの課題をヒアリング
・リーガル面の課題に関する検討進捗共有 |
| R4.10/25-26
マッチング
支援イベント② | ・3D都市モデルの実装を検討している自治体とサービス・技術を持つ民間事業者のマッチングイベントを開催。
・90自治体が参加 |
| R4.12.22
第8回 | ・GIS利用及びBIM連携におけるデータの課題をヒアリング
・データ利用環境向上施策の進捗共有 |
| R5.3.16
第9回 | ・今年度のProject PLATEAU活動結果共有
・次年度活動計画共有 |

分科会の活動成果

- 成果① 3D都市モデル整備に関する論点整理**
オープンデータの利用環境を改善するため、GIS、ゲームエンジン、コンテンツなど幅広い分野の有識者からヒアリングを実施し、課題を整理。
- 成果② 自治体・事業者のマッチング支援**
2回のマッチングイベントに延べ216自治体が参加。①人流・交通解析、②防災、③都市計画、④XR×観光の4分野で15自治体・15事業者が登壇し、ニーズ・シーズのマッチングを実施。
- 成果③ PLATEAU利用環境向上のための論点整理**
PLATEAU VIEWやPLATEAU SDKをはじめとした利用環境向上ツールの改善要望等をヒアリングし、課題を整理。

課題・展望

マッチングイベントを通じて、3D都市モデルの全国展開に向けた自治体の課題として、予算獲得のハードルや知見・体制の不足などが明らかとなった。また、オープンデータの利用の局面では、GISやXML言語、データベースに関する国内ナレッジの普及が重要であることがわかった。引き続き、これらの課題に対応しつつ、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築を進めていく。

3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会 会員一覧

座長	古橋大地 青山学院大学 地球社会共生学部 教授
有識者	南政樹 PwCコンサルティング シニアマネージャー 瀬戸寿一 駒澤大学 文学部 地理学科地域文化研究専攻 准教授 大伴真吾 社会基盤情報流通推進協議会 理事
北海道	札幌市・室蘭市
東北	(青森)むつ市、(岩手)盛岡市、(宮城)仙台市、(福島)郡山市・いわき市・白河市
関東	(茨城)鉾田市、(群馬)桐生市・館林市、(栃木)宇都宮市、(埼玉)埼玉県・さいたま市・熊谷市・戸田市・新座市・蓮田市・毛呂山町、(千葉)茂原市・柏市、(東京)東京都・目黒区・渋谷区・板橋区・八王子市・東村山市、(神奈川)横浜市・川崎市・横須賀市・相模原市・藤沢市・箱根町
中部	(新潟)新潟市・長岡市、(石川)金沢市・加賀市、(長野)松本市・岡谷市・諏訪市・茅野市・伊那市・佐久市、(岐阜)岐阜市、(静岡)静岡県・静岡市・浜松市・沼津市・掛川市・菊川市、(愛知)名古屋市・豊橋市・岡崎市・春日井市・津島市・安城市・日進市
近畿	(三重)四日市市・熊野市、(京都)京都市、(大阪)大阪市・堺市・池田市・豊中市・高槻市・河内長野市・柏原市・摂津市・忠岡町、(兵庫)兵庫県・伊丹市・加古川市、(和歌山)和歌山市
中国	(鳥取)鳥取市・境港市、(広島)広島県・広島市・呉市・福山市・府中市、(山口)防府市・周南市
四国	(香川)高松市・さぬき市、(愛媛)松山市・東温市
九州	(福岡)福岡市・飯塚市・北九州市・久留米市・宗像市・うきは市、(佐賀)武雄市、(長崎)佐世保市、(熊本)熊本市・荒尾市・玉名市・益城町、(大分)大分市・日田市、(沖縄)那覇市
大学・研究機関	九州工業大学, 駒澤大学

企業団体	大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会, 社会基盤情報流通推進協議会 (G空間情報センター), 日本PFI・PPP協会, 福島産業創生協議会, 横浜みなとみらい21
建築・設計	市浦ハウジング&プランニング, 大林組, 鹿島建設, 佐藤総合計画, 清水建設, JR東日本コンサルタンツ, 大成建設, 竹中工務店, 千代田コンサルタント, 三菱地所設計
製造	NEC, SkyDrive, ソニー, デンソー, 凸版印刷, Pacific Spatial Solutions, 日本電気, パナソニック, 日立製作所, 三菱電機, ミネベアミツミ
卸売小売・飲食	三越伊勢丹, コーナン商事
不動産	スターツCAM, 東急不動産, 東京建物, 日鉄興和不動産, 三菱地所, 森ビル
運輸・通信	NTTインフラネット, NTTコミュニケーションズ, NTTドコモ, OpenStreet, KDDI, JTOWER, ソフトバンク, 中日本航空, 東日本旅客鉄道, 日本航空
地図・測量	朝日航洋, アジア航測, ESRIジャパン, 国際航業, 国土地理院, ダイナミックマップ基盤, ダツソーシステムズ, 東亜建設技術, ナカノアイシステム, パスコ, MapBox, リモートセンシング技術センター
コンサル・シンクタンク	アクセンチュア, オオバ, 角川アスキー総研, 計量計画研究所, 建設技術研究所, 構造計画研究所, 電通国際情報サービス, 日建総研, 日本工営, パシフィックコンサルタンツ, 福山コンサルタント, ポストンコンサルティンググループ, 三菱総研
システム・ソフトウェア・AI	アイ・トランスポート・ラボ, アルテアエンジニアリング, アンシス・ジャパン, IntelligenceDesign, インフォマティクス, インフォ・ラウンジ, OSISOFTJapan, NECネットエスアイ, NTTデータ, CADセンター, StockGraphy, ニューラルポケット, VANTIQ, フォーラムエイト, ヘキメン, 三菱スペースソフトウェア, Eukarya, 理経
モビリティ・ドローン	ALAKI, A.L.I.Technologies, トラジェクトリー
AR・XR	Gugenka, Symmetry Dimensions, Synamon, Psychic VR Lab, 匠, ホロラボ, MESON
その他サービス	Code for YOKOHAMA, JTB, ドコモ・インサイトマーケティング, 日本旅行, SOMPOLリスクマネジメント, 博報堂, 博報堂DYホールディングス, JR西日本コミュニケーションズ

令和5年度
の取組予定

3D都市モデルの整備・活用促進に関する検討分科会

分科会提案者：国土交通省 都市局

分科会の目的	<ul style="list-style-type: none">3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築データ整備/ユースケース開発/オープンデータ化に関するベストプラクティスの創出・共有3D都市モデルの社会実装の促進地域のオープン・イノベーションの創出
解決したい課題	<ul style="list-style-type: none">PLATEAUの国主導型から産官学連携型への転換官民のニーズ・シーズのマッチング／潜在的市場の顕在化3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化に関する障壁可視化・対応方針整理

分科会での活動内容 及び 期待される成果
<p>■ 分科会での活動内容</p> <p>以下の論点を中心に産官学の幅広い有識者を交えて議論。</p> <p>論点1：3D都市モデルのエコシステム構築</p> <ul style="list-style-type: none">中長期戦略/国際展開経済的インパクトの試算 <p>論点2：地域のオープン・イノベーション創出</p> <ul style="list-style-type: none">PLATEAUコミュニティの育成人材育成プログラムの開発 <p>論点3：PLATEAU社会実装</p> <ul style="list-style-type: none">地方自治体の課題民間事業者の課題 <p>■ 期待される成果</p> <p>産学官の連携による3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステム構築に向けた環境整備</p>

実施スケジュール				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
分科会開催	▼第10回	▼第11回	▼第12回	▼第13回
自治体支援	▼補助事業説明会	▼マッチングイベント①	▼マッチングイベント②	
分科会とりまとめ				▼
令和5年度Project PLATEAU成果報告				▼

連絡窓口
国土交通省 都市局 都市政策課・都市計画課 村西 03-5253-8411 hqt-mlit-plateau@mlit.go.jp

都市マネジメント分科会（概要）

分科会提案者：国土交通省、松山アーバンデザインセンター

分科会の目的	目指すべきスマートシティモデル構築のため、実装、総合的なスマートシティサービスの提供を念頭に、 関連する取組を実施する先進都市同士での意見交換を通じて、知見の共有と課題解決に取り組む。
解決したい課題	スマートシティの先進都市は、新たな取り組みを手探りで実行しており、課題の対応も独自で実施しており、知見の共有、相談相手がいない場合が大半である。

分科会での活動内容及び期待される成果

■ 分科会での活動内容

活動1：国内外の事例研究（年度内2回程度）

諸外国や国内の事例紹介、民間事業者の技術等紹介

活動2：都市マネジメントの全体像、課題、実現方策等に係る討論（年度内2回程度）

「どのような行政課題のスマート化が可能か」「都市マネジメント分野で組み込むべき政策課題とその具体化方策は」等に関する議論

■ 期待される成果

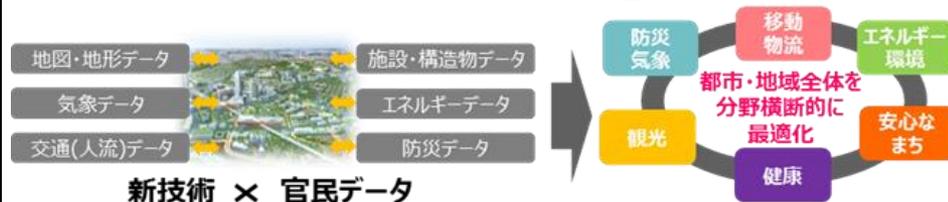
まちづくりの基本としてのスマートシティの高度化、行政サービスの効率化・高度化を通じた国民生活への貢献等

対象分野

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 防災
- インフラ維持管理
- 観光・地域活性化
- 健康・医療
- 環境
- 農林水産業
- 都市計画・整備
- 物流
- セキュリティ・見守り
- その他（全分野共通）

国内外の事例や民間事業者の技術動向を踏まえ、街づくりをどのように効率化、最適化すべきか、都市マネジメントのあり方を議論

⇒新技術や官民データを街づくりに活かし、都市・地域の課題解決につながる都市マネジメントを推進



参加メンバー：省庁1団体、自治体9団体、大学1団体、企業等34団体、合計45団体

【省庁】国土交通省 【自治体】更別村、さいたま市、中野区、鎌倉市、新潟市、藤枝市、愛知県、岡崎市、和歌山市
 【大学】東京大学 【企業等】松山アーバンデザインセンター、大村湾データコンソーシアム、福島産業創生協議会、日本PFI・PPP協会、(一財)計量計画研究所、(一社)データ流通推進協議会、森ビル(株)、清水建設(株)、(株)大林組、日本電気(株)、パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)、富士通(株)、三菱電機(株)、シスコシステムズ(同)、京セラ(株)、(株)デンソー、ミネバアミツミ(株)、KPMGコンサルティング(株)、(株)福山コンサルタント、(株)市浦ハウジング&プランニング、オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド、(株)日建設計総合研究所、(株)三菱UFJ銀行、東京海上日動火災保険(株)、NECキャピタルソリューション(株)、住友商事(株)、(株)電通、凸版印刷(株)、scheme verge(株)、大阪ガス(株)、(株)フィリップス・ジャパン、東テック株式会社、ニューラルポケット株式会社、株式会社電通国際情報サービス

分科会での活動概要

活動①：先駆的都市同士による意見交換の場を提供

「防災」、「観光・地域活性化」「交通・モビリティ」分野を念頭に、関連する取組を行う都市同士での意見交換。

活動②：「スマートシティサービスの連携ユースケース」作成のための意見聴取

国土交通省都市局の「スマートシティサービスの連携ユースケース」作成に向けた要望等について、分科会会員から意見聴取。

概要

	概要
第1回	令和4年9月20日(火)・21日(水)・22日(木) 1：先駆的都市による事業内容の発表 (防災) 会津若松市、岐阜市、加古川市 (観光・地域活性化) 孺恋村、大丸有、新潟市、岡崎市 (交通・モビリティ) つくば市、前橋市、さいたま市 2：先駆的都市同士による意見交換会 3：スマートシティサービスの連携ユースケース作成に向けた要望聴取
第2回	令和5年2月15日(水) 1：スマートシティサービスの連携ユースケースの説明 2：データを活用したまちづくりに関する事例発表 岡崎市、松山アーバンデザインセンター、NEC 3：参加者全員でのグループディスカッション

分科会の活動成果

成果①：先駆的都市同士による課題や知見の共有

参加者からは、他都市での取組や課題感など、生の声を聴けたことは大変有益とのご意見をいただいた。

また、多様な立場の参加者同士のグループディスカッションを通じて、現状の課題を踏まえたあるべき姿やデータ活用のアイデア等について知見を集約・共有できた。

成果②：ユースケース作成に対しての様々なご意見を受領

ユースケース作成に対して、費用・効果、庁内体制、複数分野でのサービス連携、個人情報が含まれる場合のサービス連携の在り方等について言及欲しいとのご意見を受領した。受領したご意見を参考に、ユースケースに反映し、都市局の有識者会議を経て、「スマートシティサービスの連携ユースケース」が完成に至った。

今後の課題・展望

「スマートシティサービスの連携ユースケース」の作成により、各地で実装されている既存サービスと関連するサービスが連携することで、より利便性の高いサービスに繋がることを示すことができた。

一方で、多様で豊かな生活を実現するためには、**ハードとソフトの両面からデジタル技術を活用して市民QoLを向上させるアプローチ**が必要である。この意味で、都市空間のマネジメントとスマートシティを掛け合わせた**「エリアマネジメント型スマートシティ」の重要性**を深掘りする必要がある。

<h2>分科会の目的</h2>	都市空間のマネジメント（計画、整備、管理、運営等）とスマートシティの取組みを掛け合わせることでエリア価値の向上を目指す「エリアマネジメント型スマートシティ」の実装事例を整理する。
<h2>解決したい課題</h2>	多様で豊かな生活を実現するためには、 ハードとソフトの両面からデジタル技術を活用して市民QoLを向上させるアプローチ が必要であり、これらの知見を蓄積する必要がある。

<h2>分科会での活動内容 及び 期待される成果</h2>
<p>■ 分科会での活動内容</p> <p>活動1：エリアマネジメント型スマートシティを実践する団体の事例研究 エリアマネジメント型スマートシティを実践する団体の事例紹介と意見交換。（年2回）</p> <p>活動2：エリアマネジメント型スマートシティのユースケース及び、実装事例の整理とりまとめ 国土交通省都市局が作成する「エリアマネジメント型スマートシティのユースケース（案）」に向けた要望等について、分科会会員から意見聴取。（年2回）</p> <p>■ 期待される成果 「エリアマネジメント型スマートシティのユースケース（案）」の作成による分科会会員間での知見共有。</p>

<h2>実施スケジュール</h2>				
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
国土省都市局 有識者委員会		●→		●→
本分科会での 意見交換・ 意見聴取		●→		●→
ユースケースの 調査、まとめ	●→			
<h2>連絡窓口</h2>				
団体名 国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室 担当者名 武内・井川 03-5253-8411 メールアドレス takeuchi-y22k@mlit.go.jp igawa-t2ah@mlit.go.jp				

5 質疑応答

事前に受け付けた質疑応答一覧

質問事項

- 調査業務や実証試験の補助金は手厚いですが、社会実装して事業として継続するために必要な施策はどのようなものがあるか教えてください
- スマートシティ推進にあたり実施前にKPIを設定すると思いますが、スマートシティの取組実施を進める中で実態に即してKPIを修正した事例があれば教えてください。また、KPIを修正するにあたって、留意事項があれば教えてください
- スマートシティリファレンス・アーキテクチャに関して、理解が深めるられるような参考情報（サイト等）などありましたら教えてください

※受領した質問から一部抜粋しております

⑥ 事務局からのお知らせ

相談窓口を設置しました

- 会員・オブザーバー様を対象とした、スマートシティの取り組みに関する相談窓口を設置しました。皆さまの積極的な活用をお待ちしております。



クリックすると
下の画面に移動します



ボタンをクリックすると
記入フォームに移動します
相談内容を入力のうえ送信ください

相談窓口

会員・オブザーバー限定で相談窓口を開設しました。

取組の推進や官民マッチングでお悩みのある会員・オブザーバー様は、下記の入力フォームよりお気軽にご相談ください。

会員・オブザーバー専用
相談窓口

スマートシティ官民連携プラットフォーム 令和5年度の活動予定

- オンラインセミナーやその他イベント等の開催を通じて、スマートシティに関する情報共有や官民の取組を紹介します。
- 官民連携プラットフォームのホームページの内容を充実させ、会員・オブザーバーの皆様やスマートシティに取り組もうとする方々が、様々な情報にアクセスしやすくなるよう改善します。

主な実施事項	主な内容
オンラインセミナー	オンラインセミナーは隔月程度で開催 し、関係府省庁のスマートシティ施策の紹介、各地区のスマートシティの取組紹介等、 最新の情報をお届け します。 (令和5年6月以降に順次開催)
マッチングイベント	スマートシティに関する 情報共有とマッチングの促進 を図ります。 (令和5年6月以降に不定期開催)
ホームページの充実 メルマガ配信	ニーズ・シーズ提案書の掲載、会員の動画掲載、各地区のスマートシティプロジェクトの紹介等、HPの内容を充実 させるとともに、関係府省庁の政策や情報等へアクセスしやすくなるよう、 ポータルサイトとしての機能充実 を図ります。 また、全国の会員・オブザーバーや関連府省庁が主催する イベントやセミナー情報をメルマガによりお届け します。 (随時)

7 閉会